

作物統計調査
令和6年産水稻の収穫量（岩手）

— 10 a 当たり収量は569kg —

- 1 令和6年産水稻の作付面積（子実用）は4万5,500ha（前年産に比べ300ha増加）となった。うち主食用作付面積は4万3,100ha（同300ha増加）した。
- 2 水稻の10 a 当たり収量は569kgとなった。
これは、全もみ数が、田植え期以降おおむね天候に恵まれ平年に比べやや多くなり、登熟（もみの肥大、充実）も、出穂期以降おおむね天候に恵まれやや良となったためである。
- 3 以上の結果、収穫量（子実用）は25万8,900 t（前年産に比べ9,800 t 増加）となった。
このうち、主食用の収穫量は24万5,200 t（同9,400 t 増加）となった。
- 4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は106となった。

図1 作柄表示地帯別10 a 当たり収量
（1.70mmのふるい目幅ベース）

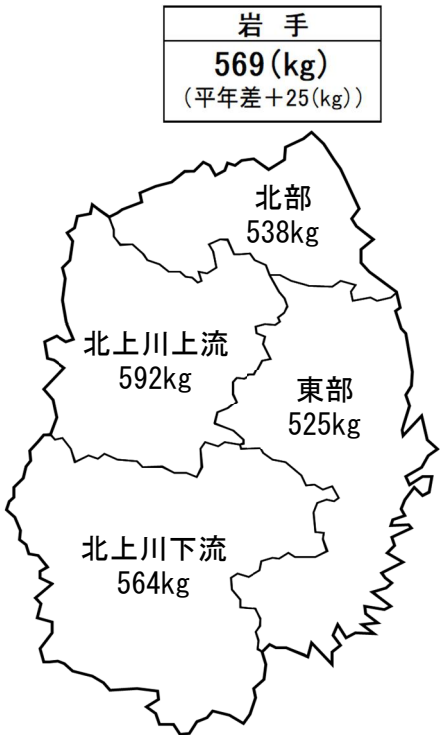


表 令和6年産水稻の作付面積及び収穫量

区 分	作付面積（子実用）			10 a 当たり収量			収穫量（子実用）			主 食 用 作付面積	収穫量 （主食用）	作況指数
	実数	前年産との比較		実数	平年 との比較		実数	前年産との比較				
		対差	対比		対差	対差		対差	対比			
	ha	ha	%	kg	kg	kg	t	t	%	ha	t	
岩 手	45,500	300	101	569	25	18	258,900	9,800	104	43,100	245,200	106
北上川上流	11,400	100	101	592	27	20	67,500	2,900	104	…	…	107
北上川下流	31,200	200	101	564	23	17	176,000	6,300	104	…	…	105
東 部	986	△ 8	99	525	33	22	5,180	180	104	…	…	108
北 部	1,900	20	101	538	32	16	10,200	390	104	…	…	108

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、青刈り面積（飼料用米・WC S用稲等を含む。）を除いた面積である。

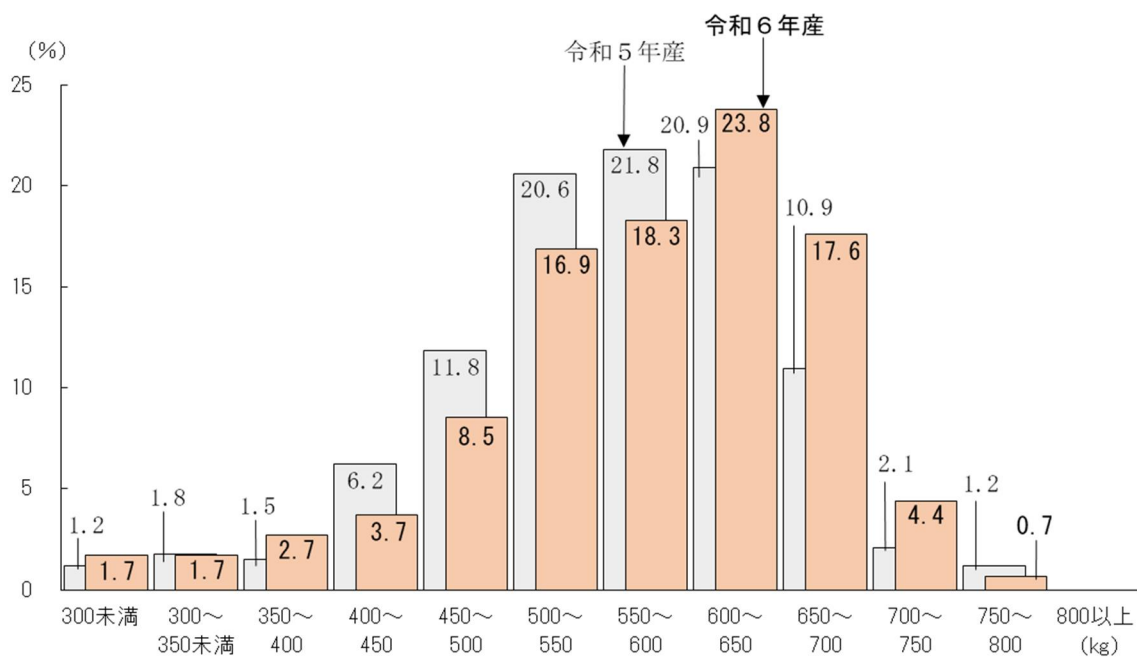
2 10 a 当たり収量、収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、新規需要米（飼料用米を含む。）、備蓄米、加工用米等の作付面積を除いた面積である。

4 作柄表示地帯別の主食用作付面積及び収穫量（主食用）は、飼料用米、備蓄米、加工用米等の作付面積を把握していないことから「...」で示した。

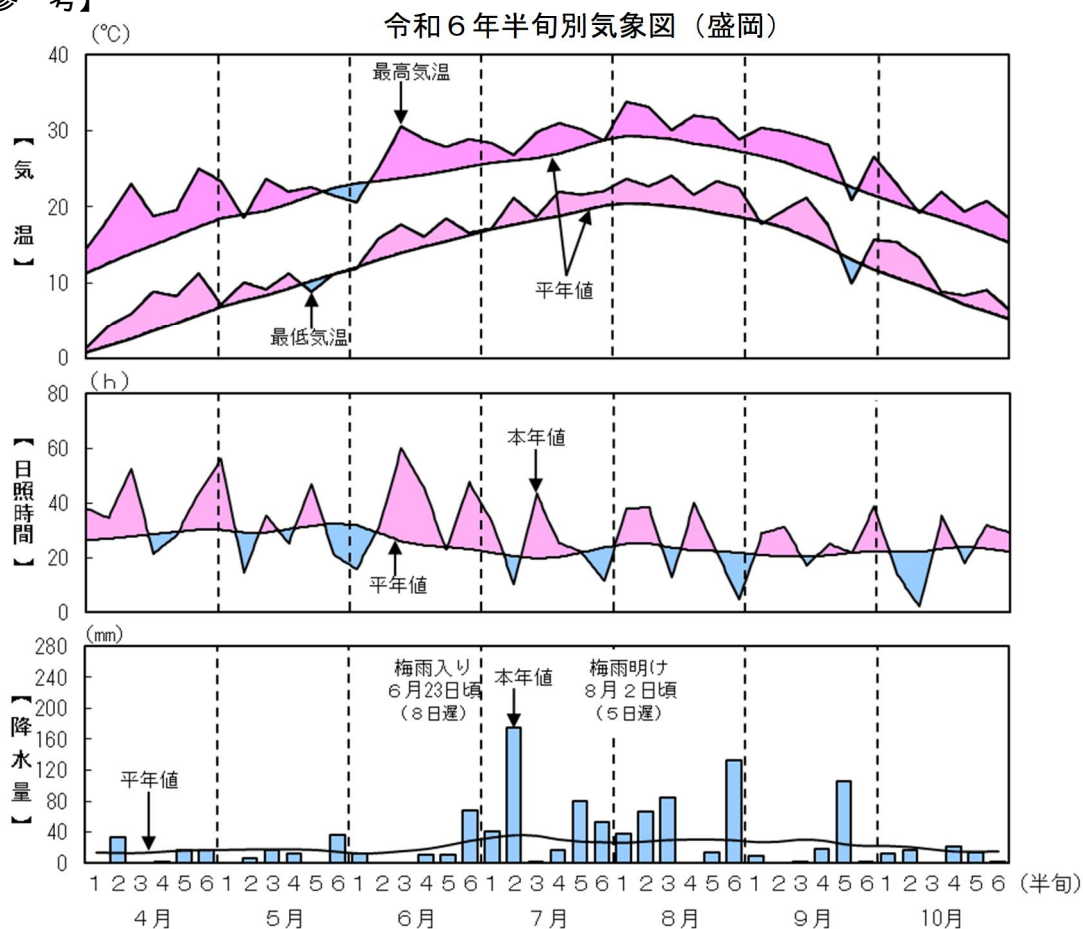
5 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、過去5か年（平成30年産～令和4年産）に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岩手県は1.90mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。

図2 令和6年産水稻作況標本筆の10a当たり玄米重分布状況（岩手）



注：令和5年産及び6年産の800kg以上の作況標本筆はなかった。

【参 考】



資料：気象庁ホームページ

注：() 内の日数の遅速は、対平年差である。

お問合せ先

東北農政局 岩手県拠点 統計担当

電 話：019-654-8885（直通） 内線 413